

平成14年度（社）日本地すべり学会東北支部 「岩手県 山館地区地すべり」現地検討会報告

（株）テクノ長谷 加藤 彰

（社）日本地すべり学会東北支部が主催する現地検討会は、昭和62年（秋田県根森田地すべり）からスタートし、本年度で16回を数えることになる。本現地検討会は、東北6県を順番に巡り、岩手県は今期で3順目となる。

開催日：平成14年10月16日、17日

場 所：岩手県江刺市山館地内

宿 泊・検討会会場：ウェルサンピア
岩手金ヶ崎

参加者：総勢71名

（2行政、2大学、26事業所）

主 催：（社）日本地すべり学会東北支部

後 援：岩手県

〔山館地すべり概要〕

山館地すべりは平成10年9月13日未明に幅100m長さ150m流出土砂200,000m³の規模で発生し、末端部の県道および一級河川伊手川を直撃した。地すべりは同年9月28日に2次すべりを生じ、平成11年1月7日に3次すべりを生じて拡大している。2次すべりおよび3次すべり発生後、土木および林野の災害査定を受けて災害復

旧事業に着手し、排土工、大口径抑止杭工、集水井工、集排水ボーリング工、護岸護床工、井桁擁壁工等の対策工を実施し、平成13年3月をもって完工としている。

〔現地検討会 第1日〕

平成14年10月16日pm1:00~4:30]

穏やかな秋日和の下収穫の終えた水田を縫ってバスは進み、ほどなく現地に到着した。早速見学ルート入口に集合し、（社）日本地すべり学会東北支部長である宮城先生の挨拶に始まり、後援者である岩手県砂防課の戸来氏、森林保全課の林氏の説明の後、参加者全員が7班に分かれて現地見学がスタートした。

見学ルートは、南側のサイドクラック沿いに集水井1基をみて滑落崖まで登り、北側サイドクラック中央部から全景を望み、移動体中央部を舌端部まで降るコースである。集水井は完成直後のものもあり、気象条件（好天が続いていた）から水はほとんどなかったが、その深さから、地すべり発生時の急激な水位上昇を伺うことができた。

短時間で地すべりの全景および移動体内部を、余裕をもって見学することができ、非常に効率のよい見学会でありました。



山館地すべり全景【岩手県提供】



山館地すべり現場入口にて

[意見交流会 pm6:00~9:00~∞?!]

現地見学終了後、宿舎であるウェルサンピア岩手金ヶ崎において恒例の意見交流会が行われた。従来とは異なり、丸テーブルに数名の形式で懇談・会食が行われ地すべり談義に花を咲かせた。

[現地検討会 第2日グループ討議

10月17日am8:30~11:00]

支部長による地形解説、盛合顧問による地質解説等を挟み、副支部長阿部真朗氏の進行により、グループ討議が行われた。昨日の見学班同様全7グループに分かれ、山館地すべりに対するグループ討議が行われた。今回は従来になく若いメンバーの参加が多く、普段考えている地すべりに対する素朴な疑問や問題点などを含めた活発な討議となった。

討議内容の要旨は以下のとおりである。

○道路防災点検等で事前予測ができなかったのか？

地すべり地形としては予測は難しい。今後は災害予測の観点から類似箇所について留意していく。

○集水井工の考え方、水が出ていない？

降雨に対する水位上昇防止、効果判定の難しさがある。

○対策工検討断面（主測線）と検討方法が行政単位で異なっている？

開析手法は異なるが、 ϕ を 17° で固定し、安全率を縛りとして摺り付けを行っている。

○主測線の捉え方として、3次すべりの方向を含めて考える必要がなかったか？
主測線を短時間で評価していくことは難しい。

○調査ボーリング孔で標準貫入試験を実施しているがオールオアリングによるコア観察が重要ではないか？

災害関連業務で、対策工設計上早急にN値を知る必要がありやむを得ない手段であった。

以上、地形、地質、対策工に対し様々な意見が出され、予定時間ぎりぎりまで討議が行われた。今回の山館地すべりは、従来の現地検討会場と趣きが異なり、一つの地すべり移動体内で全てが集約されるある意味では非常にわかり易い、反面、きわめて難しい現場であったと思われる。



グループ討議状況

〈(社)日本地すべり学会東北支部からのお知らせ〉

(社)日本地すべり学会東北支部では、東北支部創立10周年記念事業として、「現地検討会討議資料集 (CD-R版のみ)」を製作・頒布いたしております。収録現場は以下のとおりです。

根森田地すべり、与内畑地すべり、見手の原地すべり資料1~2、八幡平地すべり、稗田沢地すべり、平根地すべり、切留地すべり・栗沢地すべり、滝坂地すべり、青葉山地すべり、磐井川地区直轄地すべり、雨池地すべり、大網地すべり、狼沢地すべり・逆川地すべり
以上昭和62年~平成11年まで14ヶ所

【申込み方法】

(社)日本地すべり学会東北支部のホームページに掲載 URL:<http://wwwsoc.nii.ac.jp/thb-jls/>
頒布価格: ¥2,000 (送料込み)